

保護者の皆様へ

高浜市立吉浜小学校長
黒野 盛聖

第2回学校関係者評価委員会について（報告）

2月9日（木）に、本年度2回目の学校関係者評価委員会を行いました。それぞれの委員の皆様から、貴重なご意見をいただきましたので、その内容を要約してお知らせいたします。委員の皆様をはじめとして、保護者の皆様におかれましても、今後とも学校教育に対するご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【委員会の様子】

- ・校長より、目指す子ども像「自分の言葉で語ることのできる子」の達成に向けて、今年度の経営方針である①「授業力が向上する主題研究体制の構築」②「目標管理による学年・学級経営の展開」③「児童の主体的な活動を育む支援体制の強化」④「地域の人々とともに地域愛を育む教育活動の構築」についての取組の様子・学校の自己評価について、説明・報告しました。
- ・各学級及び算数少数指導・日本語指導等の授業を参観していただきました。
- ・授業参観の感想も含め、学校の取組の様子や自己評価について、次のようなご意見をいただきました。（書面にてご提出いただいたご意見・ご感想を含みます。）



①「授業力が向上する主題研究体制の構築」（B評価）について（含；授業の感想）

- ・授業参観をして、学校が授業力の向上・子どもの主体的な活動を育む教師の支援に力を入れている点には目を見張るものがあり、確かな成果を見ることができる。学校側は、自己評価をBとしているが、Aとしてもよいと思う。
- ・本日の授業を見る限り、先生方の授業力・指導力は確実に向上しているし、それにとまって子どもたちの力も確実に向上しているのは間違いない。引き続き、研究を推進していかれるとよいと思った。
- ・どのクラスも発表の場を多く授業に取り入れられており、自分の考え・相手の考えを話す（聴く）学習力の向上が保障されていると感じた。構造化された板書に感動した。
- ・聴き方・話し方の指導は、しっかりされていると、子どもたちの姿を見て感じている。
- ・不十分な点は、次年度の課題にもしていただきたい。

②「目標管理による学年・学級経営の展開」（A評価）について

- ・基本となる聞く姿勢ができています。グループでの話し合いや全体としての話し合いも、教師の指導力で実によくできていて、Aは当然である。
- ・担任の先生方が、一人一人の子どもを大切に学級経営にあたっていることが伝わってきた。授業の中での声かけ、教室や廊下の掲示・作品展示に温かさを感じた。
- ・子どもたちは自分の思いや考えを仲間に伝え、仲間とともに学習課題に取り組んでいた。子どもたちにとって、学校は安心して生活できる場であり、楽しい場であるという思いがなければならない。「子どもアンケート」の「学校で、勉強したり友達と話したりするのは、楽しいですか」に対して、「いいえ」の回答が0%であることがそれを物語っている。
- ・方針も評価もよいのではないかと。また、参観でも見られたが、皆発表が上手である。スピー

チ活動も、よい方策だと思った。

- ・個人と学年の先生同士の話し合いによって、共通の目標を設定して展開することにより、個人（クラス）共同（学年）としての成果に結びつくのではないと思う。

③「児童の主体的な活動を育む支援体制の強化」（A評価）について

- ・教師側の指導力と支援体制の強化により、子どもたちが学校行事に対し真剣に、あるいは楽しく活動している。Aは妥当だと思う。
- ・音楽会では、子どもたちがいきいきと活動し、仲間とともに一生懸命に合唱や合奏を通して表現活動に取り組んでいた。わずか数分の演奏のために、その何倍も時間をかけて仕上げてきたことが伝わってきた。
- ・自己評価通りでよいと思う。今後も継続していただきたい。ペア学年、幼稚園・保育園との交流も、大変よいと思う。
- ・1年生と幼稚園との児童・園児の交流で参観させてもらった姿を見ると、1年生が自ら動き、園児に教えようとする気持ちをもって行っていることが分かり、成長を感じた。
- ・これらの取組について、苦手な子や消極的な子の育成にも力を注いでほしい。

④「地域の人々とともに地域愛を育む教育活動の構築」（B評価）について

- ・祭礼への協力、花まつり、雛まつり等への参加、地域との連携や地域社会への発信は、ある程度できていると思うが、評価としてはBであろう。
- ・吉浜小の子どもたちは、あいさつが非常によくできているとほめられている。地域の人々と十分にに関わり、また感謝できている結果の表れだと思う。まち協さんの話や結果から見ても、自己評価はBではなく、Aでもよいと思う。
- ・地域における伝統文化、まち協との協働事業に積極的に参加されているが、まち協の依頼授業の要素が強い気がする。学校としての要望や出張授業を考慮されたらどうかとも思う。
- ・幼保小交流は、本当にありがたい。
- ・地域の団体を上手に利用していただきたい。

その他

- ・どの授業においても、子どもたちが前向きに学習課題に取り組んでいた。板書も学習課題が明示され、1時間の授業が終わったときに子どもたちが今日は何を学んだかを振り返ることができるようになっていた。
- ・先生方の児童・学校を思う気持ちがよく伝わってきた。
- ・資料については、簡素化できるものはされるとよいと思う。
- ・一日入学の（1年生の）様子を参観させてもらい、一人一人が自信をもって授業を受け、手を挙げ発言したり書いたりする姿を見て、成長を感じうれしかった。



一年間を通じて、学校関係者評価委員の皆様には機会あるごとに、学校に足を運んでいただきました。そして、今回もまた、子どもたちのがんばる姿をたくさんほめていただきました。これまで、吉浜小学校が取り組んできたことが、子どものすてきな姿につながっているのだと実感でき、大変うれしくありがたく思います。

しかし、同時に改善していくべきことも多数ご指摘いただきました。いただいたご意見を参考にして、今後ますますよりよい学校づくりに励んでまいります。

どうもありがとうございました。

保護者の皆様へ

高浜市立吉浜小学校長

加藤 応子

第2回学校関係者評価委員会について（報告）

2月7日（水）に、本年度2回目の学校関係者評価委員会を行いました。それぞれの委員の皆様から、貴重なご意見をいただきましたので、その内容を要約してお知らせいたします。委員の皆様をはじめとして、保護者の皆様におかれましても、今後とも学校教育に対するご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【委員会の様子】

- ・校長より、目指す子ども像「自分の言葉で語ることをできる子」の達成に向けて、今年度の経営方針である①「授業力が向上する主題研究体制の構築」②「目標管理による学年・学級経営の展開」③「児童の主体的な活動を育む支援体制の強化」④「地域の人々とともに地域愛を育む教育活動の構築」についての取組の様子・学校の自己評価について、説明・報告しました。
- ・各学級及び算数少数人数指導の授業を参観していただきました。
- ・授業参観の感想も含め、学校の取組の様子や自己評価について、次のようなご意見をいただきました。（書面にてご提出いただいたご意見・ご感想を含みます）



①「授業力が向上する主題研究体制の構築」（B評価） について（含；授業の感想）

- ・「A」が適当である。日々の積み重ね、継続の成果が実を結びつつある。
- ・内側を向いた机の配置、板書の工夫がよかった。黒板の文字が、やや小さい学級もあった。
- ・前は高学年の息の長い発言に感心したが、今回は1年生の発言にも感心した。聴き方・話し方名人が、さらに定着しつつある。話型を活用した指導が生きている。今後は、力量のある同学年の先生の授業を参観し合い、板書、つぶやきの拾い方、自主活動の促し方等を共有できるとよい。
- ・資料の数値からB評価となったと思うが、内容が次につながっていて素晴らしいと感じた。
- ・読書の時間は、長ければよいというものではないと思う。本好きでない子どもに、プラス5分は苦痛なだけではないか。居心地のよい図書館作り等、工夫がほしい。

②「目標管理による学年・学級経営の展開」（A評価） について

- ・「A」が適当である。多くの先生方が前向きで、成長されている。意識が高まらない先生の支援をお願いしたい。
- ・「A」が適当である。先生たちが、子どものことをしっかり考え、楽しく学べる学級づくりをしているところがよい。
- ・次につなげていく学級経営が組織として成り立っていることと、皆が生き生きと授業に参加できているのは、安心できる環境がそこにあるからだと感じた。
- ・子どもが学校で過ごす時間は、大変長い。そのほとんどが、学級での時間となるため、安心できる場所であるということは、最も重要だと思う。児童アンケートの「友達をすてきだと思える言葉」の数々は、評価に値すると思う。
- ・これからも、児童一人一人をよく見て、登校しぶり等にも対応されるよう望む。

③「児童の主体的な活動を育む支援体制の強化」(A評価) について

- ・できれば、教師一人一人が「何のために」その活動をしているのか、そのねらいをしっかりと理解していることが大切である。活動が、見た目の華やかさだけに走らなくなる。
- ・幼稚園にとっても、1年生との交流は、活動への刺激とあこがれ、小学校への安心感につながる交流の場となっている。継続をお願いしたい。
- ・一つの行事が、それだけのためでなく、他の行事や日々の授業や生活につなげて指導していくことで、さらに主体的になれると思う。スペシャルAだと思う。
- ・先生方が、支援の必要性を感じ、工夫しながら主体性を重んじ、日々児童と関わりをもっているからこそ、成長を感じられるのだと思った。
- ・異学年交流や異校種交流が、とてもよいと思う。園児や低学年の頃に自分たちがしてもらったときの喜びや感謝の気持ちは、高学年になったときに、小さな子を思いやる気持ちに変わると思う。これらの取組について、苦手な子や消極的な子の育成にも力を注いでほしい。

④「地域の人々とともに地域愛を育む教育活動の構築」(B評価) について

- ・限られた時間を有効活用しながら、地域との協働による授業づくりをしていると思った。まち協以外の団体との学習は受け身であったが、趣旨を踏まえた内容であれば、無理しなくてもよいのではないか。
- ・まち協との関わりで、防犯活動に「こっこキッズ」10名が協力してくれて、地域の啓発に役立っている。これからもよろしくをお願いしたい。
- ・健全な子どもの成長のために、その活動が価値あるものかどうかをしっかりと見極めて、行事や内容の精選・見直しをしていきたい。
- ・保護者アンケートの「立哨の際、子どもたちがあまりあいさつをしない」という意見が、気になる。地域の人とは、学校に出入りしている人だけではない。せめて、登下校時によく会う人にぐらい、気持ちのよいあいさつができる子どもになってほしい。
- ・地域の方を上手に利用していただきたい。

その他

- ・避難訓練やシェイクアウトの掲示物は、どの教室にも確実に掲示するようにしたい。
- ・テレビや廊下の本棚の確実な固定、出入り口の物品の整理等、地震等の災害に備えた対策をお願いしたい。
- ・「子どもアンケート」結果の「エ いいえ」の少数の児童のフォローができると、よいと思う。
- ・子どもたちの成長を、地域の住人としてうれしく思う。「人を想う」を大切に、これからも子どもたちのために尽力いただきたい。
- ・子どもたちが分かりやすく学んでいけるように、視覚で理解できるよう描いたもの等が工夫されていた。



一年間を通じて、学校関係者評価委員の皆様には機会あるごとに、学校に足を運んでいただきました。そして、今回も、子どもたちのがんばる姿をたくさんほめていただきました。これまで、吉浜小学校が取り組んできたことが、子どものすてきな姿につながっているのだと実感でき、大変うれしくありがたく思います。しかし、同時に改善していくべきことも多数ご指摘いただきました。いただいたご意見を参考にして、今後ますますよりよい学校づくりに励んでまいります。

どうもありがとうございました。